

おおくらだより



令和6年12月10日

(文責) 北九州市立大蔵小学校

校長 増田 知夏子

【学校教育目標】

「心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた自主的で実行力のある児童」の育成

「あいさつ名人見つけ」週間～♪

12月9日(月)から5日間、「あいさつ名人見つけ」の取組を行っています。

- ① 目を合わせて、気持ちをこめて
- ② 頭をさげて(少しだけですよ)
- ③ 相手に届く声で(場に応じた適切なボリュームで)

という3つを大切にしてみよう、と、委員会で話し合っていました。

実は、地域の方から「最近、挨拶がないのよねえ・・・」と言われていたところに、ちょうど同じ時期に職員室でも「最近、挨拶しないねえ」って話になりまして。。

朝の登校指導をしていますが、私には挨拶をするのに見守り隊の方には挨拶をしない、挨拶をしても目が合わない、聞こえる声で挨拶をしない、という残念なことが見受けられています。

「挨拶って、やたらとするもの？すればいいもの？」「挨拶しよるのになあ・・・」

今週は、挨拶って何だろう？どうしてするのか？と立ち止まって考える週間にしてほしいとも思っています。相手を見て挨拶をすると、とてもよい気持ちになりますよね。挨拶をされる側も気持ちが爽やかになります。私は、挨拶をされると受け入れられている気持ちになります。ご家庭でも「おはよう」「いってきます」「ただいま」などの言葉を交わしていますよね。廊下ですれ違っても知らんぷりだったり、目が合っても何も言わずに通り過ぎる、などとなると、変な間が生まれてぎくしゃくしてしまいます。

挨拶を日ごろから交わしていると、誤解のないコミュニケーションがとれるようになり、日常生活の不和を避ける働きが期待できる、とも言われています。よくある、「そんなつもりで言っていないのに」とかいうことがなくなるってことだろうと思います。「あいさつ名人見つけ」は学校全体で取り組んでいきます。取組期間が終わってからも、身についたかどうかになると思いますので、どうぞよろしくお願いします。

☆インフルエンザが市内でも流行しています。

手洗い・うがいの励行をして、予防に努めましょう！